

環境に優しい木製インテリア・エクステリア製品の開発

【相手先企業】

株式会社 造形集団ディー・オー

【目 的】

「化学物質過敏症」等の疾患に対応した天然塗料を利用した木製品、あるいは差別化、付加価値化を目指すため、地場の素材との融合や自然素材・低公害素材・低コスト素材を使った木製品作りを行う。

【内 容】

1) 製作品種及びデザインの検討

【品種について】

検討の結果、照明器具・応接セット等の日常生活でよく使用されるものを選定した。

【デザインについて（コンセプト）】

「自然素材」「地場素材」「ローコスト・リサイクル材」「アート感覚」

2) 地場素材の選定

県内地場産業として、「結城紬」「桐加工」「和紙」等があるが、企業との検討の結果、本製品製作には織布及び桐材を採用した。

3) ローコスト木材及びリサイクル素材等の利用検討。

○照明器具－フレームとなる部分は木材（古材）、照明のカサとしては織布を使用した。

○応接セット－比較的安価な県産スギ材と桐を使用した。

4) 天然塗料による表面処理法の検討

工業技術センターにおける研究で開発した新しい柿渋塗装を採用した。

【成 果】

○照明器具

古材と織布から構成されるオブジェ的様相をもった照明器具を製作した。

○応接セット

桐の白、柿渋の赤茶といった色彩及び、直線的スタイルから一見和風家具の様に見えるが、コーナー及びイスの座面等の形状が洋風であるため、和室でも洋室でも使用できる製品になった。

【P R 活動】

平成14年4月－「木を中心素材にした物作り展」

（コトブキ D.I.Center／東京）

8月－「H14いばらきものづくり展」（県庁）

【販売】大型D I Y店で、一部販売を開始した。



基礎となった事業：オンリーワン技術支援事業 共同研究

環境に優しい木製インテリア・エクステリア製品の開発(平成13年度)

担当部署：生産技術部 寺門 秀人